

■クロアチア：政府、LNG 基地新規建設に向けて前進

2019年2月4日付報道によれば、クロアチア政府はLNG基地建設プロジェクト第一段階の工事に向けた、2億3,400万ユーロの投資を決定した。また、欧州委員会はこのプロジェクトをEUの「共通利益プロジェクト」(PCI: Project of Common Interest)に認定しており、1億140万ユーロの拠出が決まっている。この動きに対してロシアは、トルコ黒海からギリシャを経由し、欧州に向けて輸送するガス供給プロジェクト(TurkStream)の方が経済的合理性に優れるという理由で、これまでLNG基地建設には反対の姿勢を示してきたが、ロシア側も態度を軟化しつつある。ロシアの駐クロアチア大使は、同基地が建設されるとエネルギーの多様化が実現することに理解を示す一方で、2018年にロシアからクロアチアには20億m³、EU全体には2,000億m³以上のガスが輸出されており、最も安価なガスは現状ロシア産であることを強調している。クロアチアのLNG基地新設計画は第一段階として浮体式貯蔵・再ガス化設備(FSRU)の設置、第二段階は陸上のLNG受け入れ設備の建設が進められる予定である。